

日立造船（株）に対し、 「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施 — 9 年連続最高ランクの格付を取得 —

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、日立造船株式会社（本社：大阪市住之江区、代表取締役社長：谷所敬、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、国内外に幅広く展開する高効率ごみ焼却発電プラントを主軸としながら、製品の基盤技術のみならず、業務プロセスも含めた広義の技術力により高付加価値を実現し、持続的な成長を目指す「技術立社」の考えの下、環境配慮型経営を推進しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 独自で開発したごみ処理発電施設の「最適運転管理システム」を用い、オペレーターによる遠隔監視と蓄積してきた過去の運転データの分析により、発電効率の向上や長期利用を実現していることに加え、環境貢献量を公表することで自社の創出する価値の見える化を図り、顧客訴求力を高めている点
- (2) 中長期的な社会課題の解決に向け、2018 年に竣工した先端情報技術センター「A.I/TEC」にて、さらなる発電施設の省力化・予防保全をかなえる技術革新と、オープンイノベーションを促す共創空間を設置して他社を巻き込みながら新たな価値創出を図ることで、循環型社会の実現に向け取り組みを推進している点
- (3) 上記取り組みを支える技術系職員とグローバル人材の育成のため、「Hitz セミナー(91 講座)」にて多様な技能習得の支援や「Hitz 技能研究所」による技能伝承の円滑化、また、外国人職員採用数の具体的な数値目標の設定や若手職員の海外派遣も積極的に実施するなど、中長期的な視点での人材育成に努めている点

その結果、当社は、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を9年連続で取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの
弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展
を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的
に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455